

都留アルプス

山行日 1月130(月) 天気: 晴れ

参加者 8名

記: SF

コース: 都留市駅 8:20 → 谷村発電所 8:35 植富士展望台 8:50 →
烽火台跡 9:15 → パノラマ展望台 9:50 → 水道橋 10:02 →
友愛の森 10:35 → 713M ピーク 11:10 → ミツマタ群生地 12:00 →
住吉神社 13:15 → 東桂駅 13:40

昨年毎旅パンフレットで都留アルプスの情報を見て、山行計画を立てた、都留市駅には都留アルプスハイキングMAPが大量に置いてあった、コースは都留市街に沿って全長8Kmに渡り、標高600m前後の山々が山脈をなしている、ハイキングコースです。コースはファミリーコース約3時間、一般コース約4時間、がっつりコース約時間30分です。スタートは谷村発電所で都留市駅より約15分で町中を通りますが標識が多くあり歩きやすく、車の通行の少ないコースとなっています、コースの最初は発電所導水管の脇を急な九十九折のコンクリートの道を15分位で尾根にぶつかり、富士山展望台になる、富士山は見えるが、手前の山の上に山頂部分が見える、ここから狼煙台跡に向け登りとなるが自然林の広い尾根道で、この時期なのでみとうしは、良いこの場所が蟻山です、ここからは少し下り、次のピーク白木山、長安寺山へその先にパノラマ展望台がある、ここからは、都留市が良く見える場所です、ここから鍛冶屋坂を下ると水道橋(ピーヤ)があり橋の上を水路が通り、発電用の水路です、次に天神山を通過地元の小学校の学校林があり途中に立派な東屋がある、時間があるので今回は休憩しないで通過、次に楽山公園への分岐がありここから公園に下山するとファミリーコースとなる、分岐点には千本桜植栽地がひろがるが、まだ植えてから浅いので、後2-3年後には、桜を見る事が出来ると思います公園分岐よりこのコースの最高地点713mへ登って行く、713m地点では登山道の標識にマジック713mの表示があるのみで、山名等は無い、少し広い場所があり、昼食タイムをとった、ここから先は人口林の中の道になる、途中の尾崎山への分岐がありリボンが多数あり、道迷いが無いように標識もある、途中ミツマタ群生地もあるが、あまり多くは無い群生地の脇が楽山球場で、このコース唯一球場のトイレが使用できる場所があります、進むとやまびこ競技場への分岐があり、球場側に下山すると一般コースとなる、ここからは人口林の沢沿いの道が登山道で数か所沢を横切る場所がありますが、水が無いので特に問題は、ありません、最後の山古城山を目指して、鉄塔巡視路を進む古城山のすぐ近くが住吉神社で、ここで全員の記念撮影を行った、ここから先は神社の参道で、民家の脇を過ぎ東桂駅に向かった、今回のコースは整備間もない為の標識やリボンが多数あり安心して歩けるコースとなっています。新緑の時期に良いハイキングコースです。



都留市駅前



街中の都留あるブルコース案内



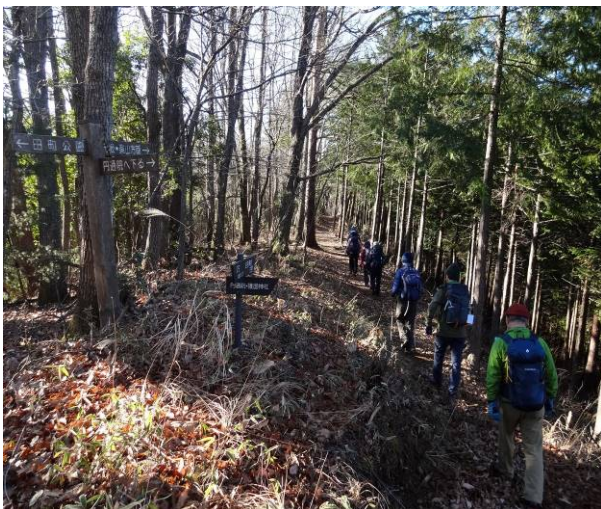
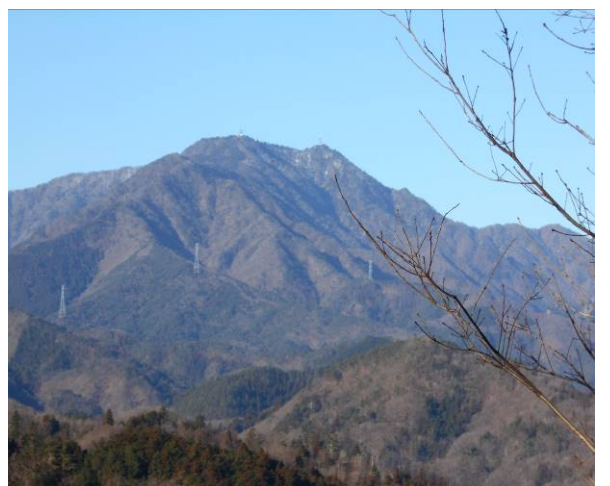
谷村発電所 ここが登山口



発電所導水管脇の急な登り



富士山展望台より 富士山の山頂が又 見回せば三つ峠も見える



登山道は自然林の緩やかな登り



狼煙台跡ここには現在の狼煙
たぶん携帯電話のアンテナが



この場所が蟻山です



円通院の分岐 このコースの特徴
いろいろ場所からも入れます



つぎの白木山



日差しもあり気持ちいい登山道



3 個目の長安寺山



水道橋 発電所の用水路が上にある



用水橋の呼び名 (ピーヤ)



このコースは送電線の巡視路を使用



4 個目 天神山



元坂 上谷への分岐



元坂分岐の水道橋



友愛の森 東屋丸太作りで立派



右側が千本桜植栽地数年先には桜が
正面の尾根が楽山公園分岐点
分岐点を右に行くとファミリーコースが終わる

このコースの最高地点 713m で昼食



尾崎山への分岐点矢印部分に
尾崎山の表示がある



同じ場所に 都留アルプスの標識もある



ミツマタ群生地規模は小さい

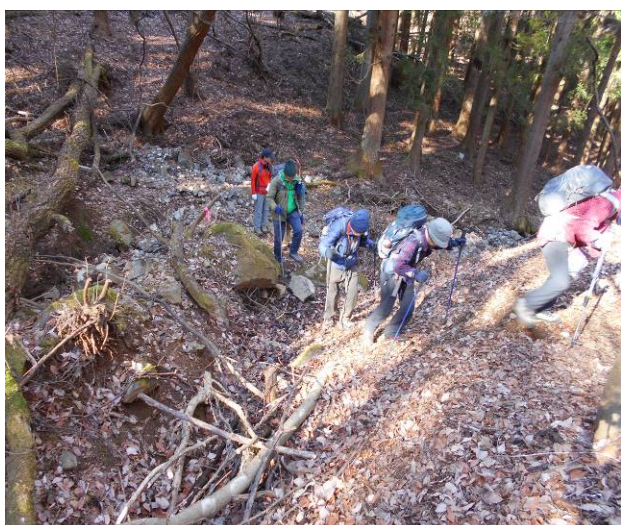


やまびこ競技場分岐 ここまでが
一般コース

人口林の中に巣箱の観察用と思われる
櫓が取り付けられてあった



がつつコースの名前の通り険しい場所もある



一般登山道とは異なり あまり整備は、されていないが標識やリボンが多数ある



尾崎山の下山コースと合流



合流前の急な登り



合流地点には多くのリボンが付いている



五個目の古城山



このコース山が多くて記念撮影の場所
が無く最後の住吉神社で行った



住吉神社の鳥居



東桂駅に到着 予定より約1時間早く着いた